

## ヒアリング調査実施状況

### 1 ヒアリング概要

#### ■趣旨

西陣を中心とした地域の活性化検討のため、地域に住む方、働く方や西陣地域に関わる方に、地域の現状や課題、目指すべき将来の西陣地域の姿について、御意見や思いをお聞きする。

#### ■主な聞き取り項目

- ①基礎項目（所属や西陣との関わり、活動のきっかけや思いなど）
- ②「西陣」の範囲について
- ③西陣地域の価値や西陣らしさ、誇るべきまちの魅力や資源
- ④西陣地域が抱えるまちの課題
- ⑤近年の西陣地域の変化
- ⑥西陣地域にふさわしい将来像、活性化の方向性（関連するキーパーソン、注目している新しい動き等）
- ⑦西陣地域の活性化に向けて推進すべき具体的な取組や施策
- ⑧その他、ヒアリング先に応じた聞き取り

### 2 ヒアリング実施先及びその概要

これまでに38人の方にヒアリングを実施した。主な概要は以下に示すとおりである。ヒアリング内容は、別途示している西陣地域のポテンシャルや課題、今後の活性化検討資料に反映、参考意見として記載等をしている。

業界・分野等	数	主なご意見（活性化の方向性について）
織物関係	6人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産地としてのブランディング戦略、地域組合の必要性</li> <li>・西陣織会館のリニューアル・産地拠点としての整備</li> <li>・ものづくりの若手育成</li> <li>・職人データベースをつくる。</li> <li>・学校や地域と西陣織業界との連携をさらに進め、子どもの西陣織の関心を高め、家族の関心につなげる。</li> <li>・静かで歴史文化があり、ものづくりやクリエイティブな仕事・人材が集うエリアを目指す。</li> <li>・町並みを残す、生かす。</li> <li>・高級志向の西陣織として、職人をしっかりと育成し、西陣の場所で生産するべき。</li> <li>・織物業界・地域の可能性としてはアートのまちを作る。</li> <li>・若い作家が集まるデザインの拠点をつくる。工房型の観光。</li> </ul>

<p>商業・産業</p>	<p>5人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい西陣のブランディング，人の流れをつくる拠点づくり</li> <li>・遊休不動産（空家や町家等）を活用した若い事業者の出店の促進</li> <li>・西陣の各拠点の見える化・つなげていく仕組み</li> <li>・ロイヤリティ路線での西陣織等のブランド化</li> <li>・行政と民間事業者が連動した着物を着る機会の拡大</li> <li>・京都の文化的価値を見出し，それを高めようとする人を呼び込み，危機感をもって自らやる人を外部の資本とつなげるなど，新しいチャレンジを起こす。</li> <li>・物件を借りやすい措置をとり，商店街に若い人の出店を促す。</li> <li>・人と人とをつなげるしかけ。点を線に，そして面にしていく。</li> <li>・商店街同士の連携体制をつくる。</li> </ul>
<p>観光</p>	<p>2人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業をする人が，いかに移り住んでくるかが大事。</li> <li>・西陣には，着物の柄など，デザインの素地がある。駆け出しのデザイナー向けに，小部屋のオフィスを用意して，安く入居できるなどのデザインセンターをつくる。</li> </ul>
<p>不動産事業者</p>	<p>2人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町家・空き家を若者が営む飲食店やものづくり等への活用・マッチング</li> <li>・空き家対策や町家の活用等，地域住民と地域に根ざした不動産事業者が連携し，取り組むことが重要</li> <li>・景観保全と景観教育を進める。</li> <li>・学生の町家居住とコミュニティへの参加推進による活性化</li> <li>・エリアを見せる（例：町家のお店などを可視化する）マップやメディアをつくる。</li> </ul>
<p>歴史文化</p>	<p>7人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美しい町並みづくり。指針をつくり商店等のビジュアルも整えていく必要。</li> <li>・金融機関のまちづくりへの巻き込み</li> <li>・西陣織の技術の見える化</li> <li>・学区コミュニティをまちづくりの核とする。</li> <li>・伝統文化のある背景を掘り下げ・引き継ぐ，庶民の生活・歴史文化を残していく。日本の食文化を残していく。</li> <li>・西陣での生活文化や西陣織を観光につなげる。</li> <li>・西陣織を着る・使う機会を増やす（例：小学校の制服を着物に）</li> <li>・感謝の気持ちを大切に祭りの復活</li> <li>・西陣の技術と歴史を生かした観光開発</li> <li>・街角の歴史の認識を広げる取組</li> <li>・住民が文化に親しむ機会を増やす，文化に親しむまちに。</li> <li>・観光よりも「ほんもの」を作る職人のまちを取り戻すことが先。西陣織をあきらめず，もう一度挑戦を。</li> <li>・西陣織は関連工程も含めて産地表示を行い，「ほんもの」が分かるようにする。</li> <li>・織物の解説の充実，職人の仕事姿の見学，体験，それらを情報発信する。</li> <li>・京町家等は外観を残すだけでなく，中身も伴わなければいけない。</li> </ul>

まちづくり	10人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生に生活文化を伝える。引き継いでいくしかけ</li> <li>・公共的なアートセンターのような場・拠点</li> <li>・京都らしさ、生活文化が残るまち</li> <li>・海外への西陣織販路拡大のための行政からの支援</li> <li>・観光と福祉の掛け合わせによるビジネス</li> <li>・地域住民の暮らしが豊か（物質的豊かさでなく心の豊かさ）になることを目的とした活性化を目指し、文化を増やすこと</li> <li>・今ある資源を使う・つなぐ・付け加える視点での文化資産を増やすためのモデル街区の整備</li> <li>・サポートでなくトレーニングによる持続力ある企業と強い経営者を育てる。</li> <li>・体験型ツーリズムなど文化資産を活用した観光ビジネス</li> <li>・西陣織の技術ストックを生かした新しいチャレンジの推進</li> <li>・相手を喜ばせる美の空間づくり</li> <li>・今出川通を軸とした活性化</li> <li>・賑わいの質を考えた上での活性化</li> <li>・季節を感じ、信仰を重んじる大人の町として残していく。</li> <li>・地域の歴史・文化を認識することから愛着がわき、今後の方向性が見える。</li> <li>・西陣の専用ホームページによる発信</li> </ul>
金融機関	2人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活文化の伝承</li> <li>・伝統と歴史、技術を生かした活性化</li> <li>・飲食や買い物ができる場所の充実</li> <li>・西陣の中でのつながりをつくる場やしかけ</li> <li>・オフィス不足の京都を受けて、補助等による西陣へのオフィス誘致（町家オフィスなど）</li> <li>・西陣織の生産工程の流れを見てもらえるような観光（糸から織物への流れが見られると面白い）</li> </ul>

<p>学識者</p>	<p>4人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術特区，伝統文化をベースとした先端的なクリエイティブなまち</li> <li>・ターミナル駅と地域が頻繁につながる交通利便性の向上</li> <li>・西陣方式の民泊：良いものをつくる・残していくルールづくり</li> <li>・利便性・快適性の強みを打ち出す</li> <li>・町家だけでなく，マンション等含めた景観づくり</li> <li>・文化発信できる大人の輝く成熟都市</li> <li>・アーティスト，ものづくりのまち</li> <li>・行政から将来ビジョンを提示して，住民と議論する</li> <li>・産業政策（仕事がないと人は集まらない）</li> <li>・生活文化の発掘と継承</li> <li>・路地文化を資源としたまちづくり，路地のリノベーション</li> <li>・和歌による情報発信</li> <li>・町家の社会的利用（例：町家を活用した住教育，高齢者が集まる場等）</li> <li>・堀川通のポテンシャルを踏まえた交通機能の整備，歩道の拡大，災害時の避難場所としての活用</li> <li>・総合的プロデューサーが必要。ビジョンの事業展開の中心を担う事業者や応援団，国際的に活躍している人材も参画。</li> <li>・産地での新たなものづくりへのチャレンジを進める（情報発信もブランドコントロール：価格コントロール）。</li> <li>・職人が住む町としてのブランド形成</li> </ul>
------------	-----------	---

### 3 今後のヒアリング予定

今後も検討委員会の議論を踏まえて，ヒアリングを実施していく。